

近畿高体連サッカー部
公式記録

会場責任者	主審サイン
相沢 政裕	東原 壮志

大会名	平成30年度 第71回近畿高等学校サッカー選手権大会(男子)	準決勝	⑬	平成30年6月17日 (日)	競技時間	70分	記録者	金塚 健介
会場	J-GREEN堺 S2	晴 天候 曇 雨	強 弱 無	芝 状態 不良 泥沼	主審	副審	第4の審判員	
					東原 壮志 氏	A1 日比 健人 氏 A2 日浦 逸貴 氏	奥村 勇磨 氏	

【チーム名】	綾羽 高等学校 (滋賀県2位)	kick off	1	前半	1	【チーム名】	大阪桐蔭 高等学校 (大阪府5位)
背番号			0	後半	1	背番号	
○ ×						○ ×	

交代時間		交代		学年	選手名	背番号	位置	背番号	選手名	学年	交代時間	
分		後半	前半	3	高木 大地	21	GK	GK	① 周参見 剛	3	分	
70				3	並松 明怜	2	DF	DF	2 小池 晴大	3	分	
分				2	森 風樹	3	DF	DF	5 向田 聖	3	24	分
分				3	浦山 昂泰	4	DF	DF	6 田中 大渉	3	*	1
分				2	大田 烈	6	DF	DF	14 下川 健太郎	3		
分			1	2	松本 斎	⑤	MF	DF	15 谷 孝紀	3		32
60		1	1	3	畠山 逸基	7	MF	MF	7 白井 拓実	3		1
69			1	3	清水 宏規	8	MF	MF	22 北岡 海渡	3	1	62
HT				1	小西 祐汰	14	MF	MF	24 椿原 瑠	3		62
分			1	3	岡林 誠悟	16	MF	FW	11 清藤 俊介	3	*	3

交代選手	番	分	氏名	背番号	位置	交代選手	番	分	氏名	背番号	位置
			今西 純	10	FW				石井 秀明	25	FW
			藤戸 清瑠	12	GK				西岡 優真	12	GK
7			中井 康貴	15	DF				山下 風龍	4	DF
2			大谷 優也	22	DF				高橋 健	17	DF
14			廣瀬 勇輝	9	MF				山内 颯	18	MF
10			桐畑 涼太郎	11	MF				才木 陽太	8	MF
			西山 藍琉	17	MF				西山 翔大	9	MF
			吉岡 柊介	18	MF				岩本 京悟	23	MF
			藤重 優	25	MF				木村 勇大	10	FW
8			小林 真渡	19	FW				今井 健太	13	FW

警・退	時間	番	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	警・退	時間	番	氏名	事由
警告	7分	21	高木 大地	反スポ	4			3	1	G K	6	3			9					
警告	47分	6	大田 烈	ラフ	5			3	2	C K	0	0			0					
					9			3	6	直接 FK	3	9			12					
					1			0	1	間接 FK	0	1			1					
					0			0	0	P K	1	0			1					

時間	チーム	得点者	アシスト	得点経過
8分	大阪桐蔭	田中 大渉		PK⑥ S
23分	綾羽	今西 純	並松 明怜	(右) スローイン⑦ n (中央) ② H n (中央) ⑩ S
37分	大阪桐蔭	清藤 俊介	白井 拓実	(左) ⑦ n (中央) ⑪ HS
分				
分				
分				
分				
分				

(略号例) ~ :ドリブル → :ゴロのパス n :浮球のパス H :ヘディング HS :ヘディングシュート × :混戦 S :シュート
 オウンゴール こぼれ球 (中央) (右) (左) 直接FK 間接FK GK 右CK 左CK スローイン パー返り ポスト返り

戦評者氏名 (水津 雅夫) 勤務先又は所属 (大阪府立 佐野工科高等学校)

大阪桐蔭1-4-4-2、綾羽1-4-1-4-1で試合が始まる。大阪桐蔭はGKも含め、DFラインでボールを回しながら綾羽DFラインの背後をシンプルに狙う。試合は8分に動く。桐蔭 f FW⑩石井が引き出し、綾羽CBが着いてきたことによりできたスペースに、MF⑩清藤が「イ」カマで抜け出す。GK①高木と1対1になり、身体を止められてPKを獲得。それを決めて先制。綾羽は桐蔭にボールを握らせながらも、縦パスを入れさせずに、SBにボールが入った時一気にプレスを仕掛け、パスの起点を自由にさせない。フアン通りの守備で桐蔭の攻撃を自由にさせず、前半は主導権を握らせなかった。綾羽はボールを奪っては、FW⑩今西とMF⑩岡林を軸に、スピードのあるMF⑦畠山が積極的に絡むことでチャンスを作る。23分には、ロングスローからFW⑩がボレーで同点に追いつく。後半に入ると、疲労からDFラインのポジションが少しずつずれる。桐蔭はハーフラインから展開力のあるMF⑦白井が、左からクロスをいれ、右MF⑩が頭で決めて勝ち越す。綾羽はFW⑩を軸に攻撃をしたいが、組織で粘り強く守る桐蔭の前に最後まで牙城を崩すことができなかった。1日2試合とハードな戦いであったが、最後まで走りぬいた両チームの健闘を称えたい。